

## ゲノム編集技術を活用！？ミライの食品

ゲノム編集技術を活用した作物が食卓にあがる日も、もう目の前です。  
今、さまざまなルール作りが行なわれている真っ最中。

「ゲノム編集技術をつかっています」という表示はすべき？  
安全性はどう担保されるの？

新しい技術が応用された作物や食品が社会に導入されるときには、  
どのようなことに配慮すべきなのでしょう？  
みなさんと考えてみたいと思います。

2019年 7月23日(火) 17:00-18:30

@吹田キャンパス センテラス3階 センテラス・サロン

## プログラム

進行 八木 絵香 (大阪大学 CO デザインセンター 准教授)

17:00- 趣旨説明

17:10- ゲストからの話題提供

村中 俊哉 (大阪大学大学院工学研究科 生命先端工学専攻 教授)

平川 秀幸 (大阪大学 CO デザインセンター 教授)

17:40- 質疑応答 & ディスカッション



撮影：アカデミスト株式会社

対象 主に、大阪大学教職員・学生のみなさん

- ・新規技術が社会にどう導入されるのか気になるという方
  - ・ゲノム編集に関わる研究をされている方
  - ・科学コミュニケーションに関心のある方
- など、ぜひどうぞ。

申込 ウェブフォームから



大阪大学大学院工学研究科/工学部  
Graduate School/School of Engineering, Osaka University

申し込み先・問い合わせ先 [stips-info@cscd.osaka-u.ac.jp](mailto:stips-info@cscd.osaka-u.ac.jp)

公共圏における科学技術・教育研究拠点(STiPS)(大阪大学COデザインセンター内)

主催 公共圏における科学技術・教育研究拠点(STiPS) 共催 大阪大学大学院工学研究科、大阪大学COデザインセンター